平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 062	**提案機関名**	横浜農業協同組合

要望問題名　シクラメンの開花促進技術の向上（出荷技術の向上）

要望問題の内容　【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

当管内では、シクラメン農家が36戸程あります。生産量は、約11万鉢、が直売、宅配などで出荷されています。近年、都市の環境悪化の中で、工夫してその生産に取り組んでいますが、昨年度は、温室、ハウスの気温が高温に推移し、中でも、30品種のなかで、ソフト系、フリンジ系、ビクトリアなどが特に高温障害の影響を受けました。そこで現場では、涼しくなるように、いろいろ工夫をおらしていますが、従来やられていた開花促進技術を見直した方が良いとの声があります。GA、BAの濃度。1ppm・30ppm。時期は、9月下旬～10月上旬、に処理をしてきたが、近年の品種も変わっているので、芽点数の増加などの処理の仕方について、検討をお願いしたい。

解決希望年限	①　1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター

備　考

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	果樹花き研究部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

鉢物・花壇苗の高品質省力栽培技術の開発

・夏季のシクラメン栽培における遠赤色光吸収フィルムの利用性検討

対応の内容等

シクラメンの開花促進技術につきましては過去に「シクラメンの開花に及ぼすベンジルアデニンの影響」（愛知農総試研報11（1979））、「BA 処理がシクラメンの開花に及ぼす影響」（神奈川園試花き成績書 1974）、「BA によるシクラメンの開花促進試験」（神奈川園試花き成績書 1975）、「シクラメンに対するジベレリン応用試験」（神奈川園試花き成績書　1961）、「シクラメンの生育に及ぼす植物生長調節物質の影響」福岡農総研報 B-3　1984）等で報告されていますのでこれを参考にしていただきたいと思います。

処理時期についても芽の生育状況を確認して適期に処理するように指導していただきたいことと、シクラメンに登録がある植物生長調節剤（開花促進）はジベレリンのみです。

また、シクラメン夏季の高温対策としましては、前述の試験研究課題として夏場を少しでも涼しい環境となるように試験に取り組んでいます。

解決予定年限	①　1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内

備　考